２４．高齢（65歳以上）入院患者の入院中の骨折率

算式

$$\frac{\text{【分子】 分母対象例のうち入院中に骨折した患者数}}{\text{【分母】 3日以上入院した65歳以上の退院患者数}}$$

定義

高齢（65歳以上）入院患者の入院中における骨折割合

指標の解説

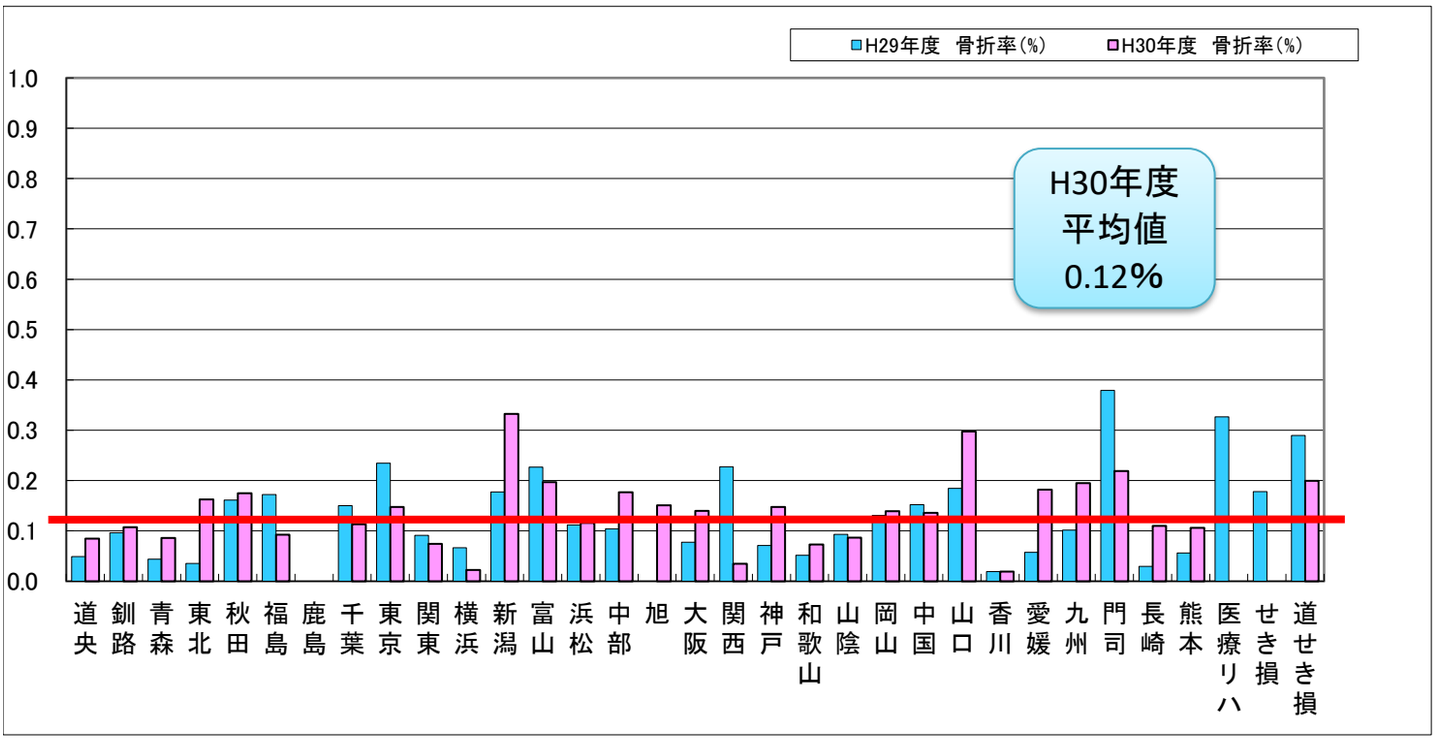
施設調査より抽出

安全で質の高い医療の提供に関して、高齢入院患者に対する医療安全対策の取組について高齢入院患者の転倒・転落による骨折の発生状況から評価する。

高齢者の入院の増加に伴い、高齢者の転倒・転落件数の増加が危惧されており、高齢者が転倒した場合には骨折する頻度が高く、特に予防対策を強化する必要がある。

発生率が低い場合には、転倒・転落予防に積極的に取り組み、またその効果が表れていると評価できる。

２４．高齢（65歳以上）入院患者の入院中の骨折率



		H29年度			H30年度		
No	施設名	分母	分子	骨折率(%)	分母	分子	骨折率(%)
1	道央	2,047	1	0.05	2,356	2	0.08
2	釧路	5,195	5	0.10	5,570	6	0.11
3	青森	2,290	1	0.04	2,330	2	0.09
4	東北	5,623	2	0.04	4,918	8	0.16
5	秋田	1,858	3	0.16	1,716	3	0.17
6	福島	3,486	6	0.17	3,252	3	0.09
7	鹿島	414	0	0.00	202	0	0.00
8	千葉	5,986	9	0.15	6,165	7	0.11
9	東京	4,261	10	0.23	4,733	7	0.15
10	関東	6,559	6	0.09	6,715	5	0.07
11	横浜	8,979	6	0.07	8,879	2	0.02
12	新潟	1,129	2	0.18	1,204	4	0.33
13	富山	2,203	5	0.23	2,543	5	0.20
14	浜松	3,564	4	0.11	3,448	4	0.12
15	中部	5,745	6	0.10	5,647	10	0.18
16	旭	3,274	0	0.00	3,316	5	0.15
17	大阪	10,275	8	0.08	11,443	16	0.14
18	関西	8,346	19	0.23	8,597	3	0.03
19	神戸	4,228	3	0.07	4,062	6	0.15
20	和歌山	3,890	2	0.05	4,118	3	0.07
21	山陰	4,287	4	0.09	4,601	4	0.09
22	岡山	4,595	6	0.13	4,312	6	0.14
23	中国	5,249	8	0.15	5,143	7	0.14
24	山口	3,256	6	0.18	3,359	10	0.30
25	香川	5,139	1	0.02	5,135	1	0.02
26	愛媛	1,745	1	0.06	1,648	3	0.18
27	九州	5,902	6	0.10	6,147	12	0.20
28	門司	2,110	8	0.38	2,280	5	0.22
29	長崎	3,391	1	0.03	3,630	4	0.11
30	熊本	5,315	3	0.06	5,644	6	0.11
31	医療リハ	306	1	0.33	318	0	0.00
32	せき損	561	1	0.18	587	0	0.00
33	道せき損	1,035	3	0.29	1,002	2	0.20
合計		132,243	147	0.08	135,020	161	0.12
平均	500床以上	7,588	8	0.10	7,700	7	0.10
	400床以上	5,177	6	0.11	5,395	7	0.12
	300床以上	3,743	4	0.11	3,949	5	0.13
	300床未満	1,524	2	0.13	1,542	2	0.15